

二〇二六年度 健和看護学院 国語入試問題

◆◆◆ 解答は、すべて解答用紙に書くこと。 ◆◆◆

一 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

言葉の持っている力ということを考えるとき、いつも思い浮かべるひとつの経験がある。母国語をらくらくとしゃべれるかどうか、人の性格形成に及ぼすじつに大きな影響について、この経験は語っているように思うのである。

ある日本の芸術家がパリで外国女性と結婚し、そこで暮らし、子どもが一人できた。妻なる女性フランス人ではなく、別の国からパリに留学していた人である。私は昔、パリに数か月 aタイザイしたとき、この知人の家に数回いったことがある。そして四歳になったばかりになる坊やと仲良しになった。この坊やは、もちろんフランス語しかしゃべれない。父は日本人、母はドイツ語圏の某地の生まれだから、両親の母国語は、日本語およびドイツ語である。しかし二人のあいだに生まれた子供は、両親の共通語であるフランス語しかしゃべらない。このケースは、いわば臨床的な観察の対象として、興味ある例を示していた。両親は母国語ではない言語（フランス語）によって意思を通じ合い、その子供は、両親にとって母国語ではないそのフランス語を、やむを得ず自分の言葉として覚えてゆかねばならないというわけで、三人は一種抽象的、人工的な言語環境をつくりあげていたのある。

だが、実際には、それは観察の対象とか何とかいったなまやさしい問題ではなかった。私が胸を bツ かれたのは、この坊やの並外れて神経質な挙措動作であり、かつ、そこに漂っている言い知れぬ孤独感であった。（略）

具合の悪いことに、フランスのアパート生活は、日本の団地などよりもさらに孤立的である。親同士はもちろんのこと、子ども同士の往来も、日本ほどには開放性をもっていない。この坊やの場合、仲良く遊べるフランス人の子供は、周囲にいなかった。そうになると、坊やの生きている言語環境は、きわめて特異なものとならざるを得ない。決して完全とはいえない両親のフランス語が、彼にとつてのマザー・タングとなる。大体、マザー・タングなるものが、何でマザー（母）と呼ばれたかといえ、その背景には明らかにひとつの言語観があったはずである。（略）

その後、いろいろな事情があつて、この坊やは日本にやつてきて、祖父母のところ暮らしこととなった。日本の幼稚園に通い、たくさんのお友だちができた。私は一年ほどしてから一度だけ会ったことがある。そのとき驚いたのは、かつての神経質で孤独な感じが、まるで拭い去ったように消えていたことである。日本へ来た当座は、おそらく大変だったことだろう。しかし、一年もたつと、子どもはまったく日本語の中に同化してしまったのだ。元氣な腕白坊主になっているのを見て、私は他人事ならずホツとしたものである。以上の例は、言葉というものが人間の性格形成、いや人格形成全体に対して果たしている重大な役割を、おのずと物語っていないだろうか。

人為的、後天的に修得された言葉の中だけで子供を育てようとすると、言語のみならず人格そのものに、なんらかのひずみをもたらしかねない。母国語というものは、日ごろ無意識的にわれわれの中で生き、われわれを取り巻いているので、その重要性について私たちはともすると全く無自覚であるが、言葉の修得は、単に意思の伝達手段の修得といった程度のことにとどまらず、一人の人間の人格全体の問題に cユンゲン 的にかかわりをもっているということ、はつきりと自覚する必要がある。単なる意思伝達ということなら、たとえば足で人を飛ばすのも、あごで指図するのも、眼でにらみつけるのも、すべて意思伝達の手段でありうる。時には、それが言葉によるよりもずっと強力で効果的で即効性をもっている場合さえある。言葉を①単なる意思伝達の手段という観点からのみ考えるなら、言葉は、記号的であればあるほど便利で有効だということにさえなりかねない。

だが、事はそのように簡単ではない。言葉によって伝達されるものは、意思だけではない。もともと、人間の意思というようなものを、それだけ純粹に抽出できるわけではないので、人は言葉によって意思を伝達するといふとき、じつは意思以上に、人格全体を伝達するといふべきなのである。同じ言葉で同じ意味内容を何人もの人が語った場合、ひとがそこから受け取るものがそれぞれ非常に違っているといふことは、しばしばみられる現象である。それは、それらの言葉によって意味されるもの、すなわち発語の深層構造をなす人格が、それぞれ異なっているからにほかならない。

言葉はそれゆえ、正当な意味で、人格的現象であるといふことができる。それを端的にあらわしているのは、たとえば次のようなことである。幼い子供を観察していると気づくことだが、子どもにとつては、ある感情は、それに適合した言葉をおぼえたときにはじめて、明瞭に自覚されるものとなる。たとえば悲哀の感情は、「かなしい」とか「さびしい」とかの言葉を知ったときはじめて、子供にとって明瞭な感情となるのであつて、それ以前は、未分化な、一種全身の衝動、すなわち泣き叫ぶ動作とともに流動し消滅してゆく衝動としてあるにすぎない。こういう全身の衝動はしばしばおとなが振りかえつては、憧れと dキョウシュウ をそえられるに足る、合理・非合理の区別以前の、幸福な混沌の時代のようにみえる。

事実、近代の詩人たちの多くは、そのような②未分化で原初的な感情をよび戻そうと、くりかえして試みてきた。だが、それはもともときわめて困難な逆転作業であつて、成功をはじめから念頭においてできるようなまやさしい試みではない。言葉を用いて、言葉以前の世界に戻ろうといふのだから、はじめから絶望的な eムジユン をはらんでいるのである。

しかし、このような試みがくりかえされるということ自体、③言葉の世界のおどろくべき広大さを示しているといふべきだろう。ある言葉が与えられてはじめて、ある感情が明瞭に自覚されるようになるといふことは、何も幼い子供の場合だけではない。人はその知っている言葉の世界の広さに応じて、感情の世界をもつと言つていいのである。ある社会、ある階級、ある職業が、必ずそれ独自の通用語をもち、それによつて最も内密の、深いコミュニケーションを果たすということも、これを証明している。（略）

④言葉の教育は、最も重要な教育である。貧弱な言語教育は、貧弱な人間を必然的につくりあげる。間投詞めいた、粗雑で画一的な言葉をもつばらしゃべり、言葉で表現できないところはただちに身体のリズミカルな動作や、白々しい無関心の

表情で埋めてしまう、そんなカッコよさだけで自分が表現できると考える少年たちがふえてくるとするなら、それは日本の言語教育にどこか大きな欠陥があることを示してはいはしないだろうか。言葉を創造的につかうことができるとき、人はまさしく人格になるのだが、そのためにはまず言葉が人格的現象であることを、人々がはつきりと自覚してかかる必要があるし、言語教育ということも、この観点にたたない限り、成果をあげることではできないだろう。

（『詩・ことば・人間』大岡信）

問一 二重傍線部 a のカタカナを漢字に直しなさい。

問二 傍線部①とはあるが、筆者は言葉は単なる意思の伝達以上に何を伝達するものだと考えているか。本文中の語句を用いて簡潔に答えなさい。

問三 傍線部②とあるが、ではこれを言い換えた部分を、本文中から四十字以内で抜き出し、最初と最後の五字を答えなさい。（句読点含む）

問四 傍線部③とはどういうことか。本文中の語句を用いて簡潔に答えなさい。

問五 傍線部④について

- （1）それはなぜか。「言葉」「人格」の二語を用いて、簡潔に答えなさい。
（2）では、筆者は言語教育はどのような観点に立つて行うべきだと考えているか。本文中の語句を用いてわかりやすく簡潔に答えなさい。

二 次の敬語の問題について、選択肢のあるものは記号を選び、空欄には適当な言葉を入れて答えなさい。

1 少し時間がかかることを上司に相談する場合、まず、どのように言うといいですか。

お時間を

【接客や取次】

2 訪問者から自社の人（田中さん）への言付けを頼まれた場合、どのように言うといいですか。

田中に

【取引先への訪問】

3 トイレを借りる場合、どのように言うといいですか。

- ア 洗面所をお借りしたいのですが。 イ おトイレはどちらですか。 ウ お手洗いはどこですか。

【電話】

4 電話の相手が名乗り、「お世話になります」と言った場合、どのように言うといいですか。

- ア ご苦勞様です。 イ お疲れ様でございます。 ウ こちらこそお世話になっております。

【報告・連絡・相談】

5 自分の報告書に関して、上司に「どう思うか」と聞く場合、どのように言うといいですか。

。

三 次の慣用句・ことわざ・故事の意味として適当なものを語群の中から選び記号で答えなさい。

- （1） 1 虎の子 2 豚に真珠 3 猫の額

語群	
ア	逃げ出すことができないこと
イ	今にも息絶えそうな様子
ウ	非常にせまいこと
エ	貴重なものも価値のわからない者には無意味なこと
オ	適当なこと
カ	誰も取り合わないこと
キ	大切に手放せないもの
ク	多くの人が逃げ出す様子

- (2) 1 火中の栗を拾う 2 糠に釘 3 木で鼻を括る

語群			
ア	つまらないものでもないよりはまし	イ	効き目のないこと
ウ	そのかされて危険を冒すこと	エ	無愛想な返答をすること
オ	知らぬゆえに心の平安が保てること	カ	好んで人の弱点をあばくこと

四 次の空欄に適当な漢字を入れて四字熟語を完成させなさい。

- 1 傍 ☐ 無人
2 平身低 ☐
3 朝令 ☐ 改

五 次の語の反対語を、それぞれ後の語群から一つ選び、漢字で答えなさい。

- 1 外面
2 減輕
3 不遜

(語群)	ヒンジャク	カジユウ	ナイコウ	ケンソン	ナイシン	ゾウカ
------	-------	------	------	------	------	-----

六 傍線部の例文における意味として最も適当なものを、①～⑤のうちから選び記号で答えなさい。

- 1 北高の麒麟児きりんことは俺のことよ。
①意気盛んで勇氣あふれる若者 ②優れた才知をもった若者 ③人々を統率する力に秀でた若者
④慈愛や包容力に満ちた若者 ⑤人並外れた魅力をもった若者
- 2 扉の向こうから切れ切れに鳴咽おえつが聞こえてくる。
①もらい泣き ②むせび泣き ③うれし泣き ④くやし泣き ⑤しのび泣き
- 3 何が彼女の心の琴線に触れるか見当もつかない。
①落ち着き安堵させること ②失望し落胆させること ③感動や共鳴を与えること
④動揺し困惑させること ⑤怒りを買ってしまうこと

七 (1) 次の作品の作者名を漢字で正しく答えなさい。

- 1 『たけくらべ』 2 『金閣寺』 3 『黒い雨』

(2) 次の文は小説の冒頭部分である。作品名と作者名をそれぞれ漢字で正しく答えなさい。

道がつづら折りになって、いよいよ天城峠に近づいたと思うころ、雨脚が杉の密林を白く染めながら、すさまじい早さで麓から私を追ってきた。